

令和 6 年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 6 年 8 月 28日作成

大学名： 新潟国際情報大学

タイトル： どうして周りを気にするんだろう？～それって思い込み？～

1. 本ワークショップに関連する SDGs の目標に○印をつけてください。



⑩ 平和と公平をすべての人に

2：本ワークショップの要旨

周りの目を恐れて、言いたいことを言えなかった経験はないだろうか？

自分にはできないと思い込み、無意識に自分の言動の幅を狭めているかもしれない。

本ワークショップでは、対話を不可能にしてしまう「無意識の思い込み」が自分にもたらす影響を体感し、自分の本心と向き合い、表現する方法を学びたい。そして、思い込みにとらわれず、自分の可能性を広げるきっかけをつかんでほしい。

3：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス。略してアンコン)について知り、自分もアンコンを持っていることに気付く。そして、班のメンバーと話し合いながらアンコンについて知識を深めて、向き合い方を考えてほしい。

4：本トピックをとりあげる理由

近年、無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)が意識されている。アンコンシャスバイアスは誰もが持っているもので、それ自体は悪いことではない。しかし、そのアンコンシャスバイアスを人に押し付けたり、自分がとらわれてしまった場合に悪い影響を自分や他者に及ぼしてしまうため、注意が必要である。本ワークショップでは、アンコンシャスバイアスが自分や他者に悪い影響を及ぼさないようにアンコンシャスバイアスについてしっかり理解を深めてもらいたいため。

5 : 活動過程

(使用時間 : 100 分 参加人数 : 35 人)

| 過程 (所要時間) | 活動内容 | 具体的な発問・ 説明・動きなど | ねらい | 使用する 教材・備品 | 予想される反応、 その他注意事項 |
|---------------|--|---|---|---------------|---------------------|
| 導入:起 (20分) | あいさつ (3分) | 大学生の自己紹介 班で自己紹介 SDGs の説明 | メンバーの 名前を知っ てもらおう SDGs につい て知っても らう | | |
| | アイスブレイ ク(12分) 「十人十色ゲ ーム」 | ①班の中で代表者 を3人決める ②代表者に向けて 三、四択問題のお題 を3問出す。 ③代表者に一人一 問ずつ問題のお題 に答えてもらう ④代表者以外の人 は代表者が何を答 えるか予想する 3問行う | 自分が人の 見た目や印 象などから 普段決めつ けてしまっ ている可能 性があるこ とに気付い てもらおう。 楽しむ | 白紙 ペン | |
| | 導入 (5分) 「アンコンシ ヤスバイアス とは何か？」 | AG ジャパンの動画 を流す アンコンシヤスバ イアスの説明をす る。 | アンコンに ついて知っ てもらおう。 | | |

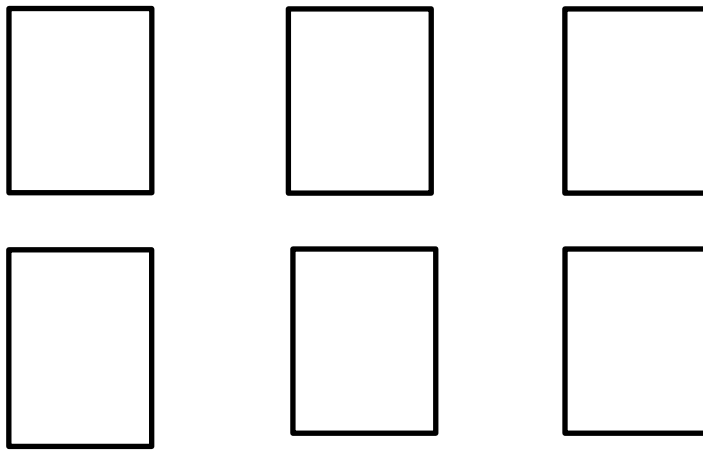
| | | | | |
|--|--|---|---|--|
| <p>展開：承 (34分)</p> <p>「アンコンスタディー」前編 (24分)</p> <p>休憩 (10分)</p> | <p>①問い(1)を全体に向けて出す。 →「どんなアンコンがあるんだろう？」 (1分)</p> <p>②班のメンバー一人ひとりに ABCDE を振り分けてそれぞれのアルファベットのグループに分かれる。(3分)</p> <p>③アルファベットのグループごとに異なるエピソードを見てどこにアンコンがあるのかがしてもらおう。 (5分)</p> <p>④終わり次第、「どんな気持ちになるのか」を考えて、ふせんに書いてもらおう。(10分)</p> <p>⑤発表シートにまとめる。(5分)</p> <p>休憩をする前に元の班に戻ってもらおう</p> | <p>アンコンの種類について知ってもらおう。</p> <p>自分もアンコンをもっていることに気付く</p> <p>アンコンについてもっと理解を深めてもらうため</p> <p>話し合ってもらうため</p> | <p>資料×人数分</p> <p>大用紙</p> <p>ふせん</p> <p>ペン</p> | <p>アンコンの種類 →ステレオタイプ、インポスター症候群</p> <p>難しいかもしれない</p> <p>③「どんなところにアンコンがあるのか」→青い付箋</p> <p>④「どんな気持ちになるのか」→黄色の付箋</p> <p>⑤発表シートにまとめる時、付箋の内容からそれぞれ1,2個を抜粋して書いてもらおう</p> |
|--|--|---|---|--|

| | | | | | |
|-----------------------------------|---|--|---|---------------------------|--|
| <p>発展：転 (41分)</p> | <p>「アンコンスタディー」後編 (31分)</p> <p>ふりかえり (10分)</p> | <p>①元のグループで発表シートをもとに共有する。 <u>(10分)</u></p> <p>②全体にステレオタイプとインポスター症候群の説明(悪い影響など)をする。(5分)</p> <p>③新たにもう一つ問い(2)を出す。 →「どうやったらアンコンを減らせるのか？」 <u>(1分)</u></p> <p>③問い(2)について班で話し合う。ポストイット<u>(10分)</u></p> <p>④一班ごとに発表してもらおう。<u>(5分)</u></p> <p>①アンコンを学んだ上でこれから気を付けたいことを宣言としてかいてもらう。(5分)</p> <p>②班の中で共有する。(5分)</p> | <p>他にどのようなアンコンがあるのかを知る。</p> <p>自分がアンコンを持っていることに気付く</p> <p>これからもアンコンを意識してもらうため</p> | <p>模造紙 ふせん ペン</p> | |
| <p>まとめ：結 (2分)</p> <p>予備3分</p> | <p>まとめ</p> | <p>アンコンは「生まれながらにして皆が持っているもの」無意識に誰かを傷つけてしまったり、自分の可能性を狭めてしまったりするかも。「それってアンコンかも」とい</p> | | | |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | う言葉を合言葉に、 アンコンに気付き、 自分の可能性を広 げて欲しい。 | | | |
|--|--|--|--|--|--|

6：会場のセッティング（対面の場合のみ）

前



7：使用する教材

8：参考にした資料

- ・北村英哉・唐沢穰（2018）『偏見や差別はなぜ起こる？』、ちとせプレス、[290]
- ・葛西真紀子、松本麻里（2010）「青年期の友人関係における同調行動—同町行動尺度の作成—」『鳴門教育大学研究紀要』第25巻、pp. 1-15
- ・井口武俊・河村茂雄（2021）「学級における同調圧力がもたらす否定的側面とその改善を検討した先行研究の展望」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』28号、pp. 1-9
- ・友野清文（2015）「ジグソー法の背景と思想—学校文化の変容のために—」『学苑 総合教育センター国際学科特集』895号、pp. 1-14
- ・青木一起（2023）「生涯を通じたキャリア形成の視点に立ったアンコンシャス・バイアスの気付き」『相山女学園大学教育学部紀要』第16巻、pp. 137-142

- ・熊谷亮・橋本創一（2016）「日本における学校適応に関する研究の動向と課題」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系Ⅱ』 第 67 巻, pp. 319-325,
- ・北村英哉（2021）『まんがでわかる社会心理学』カンゼン
- ・亀田達也（2019）『眠れなくなるほど面白い 図解社会心理学』日本文芸社
- ・守屋智敬（2019）「アンコンシャスバイアス・マネジメント 最高のリーダーは自分を信じない」株式会社かんき出版
- ・情報文化研究所（2021）「情報を正しく選択するための認知バイアス辞典」フォレスト出典
- ・平山美希（2023）『「自分の意見」ってどう作るの？哲学講師が教える超ロジカル思考術』WAVE 出版
- ・アンコンシャスバイアスとは？ | 一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所（unconsciousbias-lab.org）〈<https://www.unconsciousbias-lab.org/unconscious-bias>〉(最終閲覧日 2024 年 7 月 17 日)
- ・【佐賀大学ダイバーシティ推進室】無意識バイアスマネジメント学生版 (youtube.com)〈<https://www.youtube.com/watch?v=oza--tP3zew>〉（最終閲覧日 8 月 2 1 日）

9 : その他